



2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年11月9日

上場会社名 日本電子材料株式会社

上場取引所 東

コード番号 6855 URL <https://www.jem-net.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大久保 和正

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 管理部門統括部長 (氏名) 足立 安孝 TEL 06-6482-2007

四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 2022年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	9,562	14.8	1,240	58.8	1,530	49.7	1,082	49.6
2022年3月期第2四半期	11,226	37.1	3,011	146.9	3,044	164.5	2,145	150.4

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 1,575百万円 (31.7%) 2022年3月期第2四半期 2,305百万円 (182.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	85.89	
2022年3月期第2四半期	178.68	178.12

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	31,679	23,147	73.1
2022年3月期	32,992	21,788	66.0

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 23,147百万円 2022年3月期 21,788百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		20.00		20.00	40.00
2023年3月期		20.00			
2023年3月期(予想)				20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,400	9.3	2,900	41.5	3,100	39.1	2,100	44.8	166.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	12,625,314 株	2022年3月期	12,604,880 株
期末自己株式数	2023年3月期2Q	15,800 株	2022年3月期	15,746 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	12,597,867 株	2022年3月期2Q	12,010,271 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(重要な後発事象)	P. 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に係る各種行動制限の緩和により、社会経済活動の正常化に向けた動きがみられました。しかしながら、世界的な金融引締めが続く中、海外景気の下振れリスクの高まりや、急激な円安の進行によるエネルギーや原材料の価格の上昇等により、景気の先行きは不透明な状況で推移いたしました。海外経済につきましても、ウクライナ情勢の長期化、長引く新型コロナウイルス感染症による影響、インフレ率の上昇等により、成長の鈍化は広範囲に及んでおります。

当社グループの主たる事業分野である半導体市場につきましては、需給が逼迫していた自動車向け半導体は、徐々に供給体制が正常化に向かいました。一方、スマートフォンやパソコン向け半導体につきましては、景気の減速等による需要の冷え込みにより、先行きは不透明な状況で推移いたしました。

このような事業環境の中、当第2四半期連結累計期間の売上高につきましては、非メモリ向けは、海外における拡販を推し進めた事等により、底堅く推移いたしました。しかしながら、前年同四半期において需要が旺盛だったメモリIC向け製品につきましては、スマートフォンやパソコン向け半導体に加え、データセンター向け半導体においても需要が弱含んでいる影響等により、軟調に推移いたしました。以上により、売上高は前年同四半期を下回る結果となりました。利益面につきましても、為替が円安で推移する等の増益要因があったものの、売上高の減少及びプロダクトミックスの変化等により、前年同四半期を下回る結果となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は9,562百万円（前年同四半期比14.8%減）、営業利益は1,240百万円（前年同四半期比58.8%減）、経常利益は1,530百万円（前年同四半期比49.7%減）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、1,082百万円（前年同四半期比49.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債および純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,313百万円減少し、31,679百万円となりました。

これは主として、原材料及び貯蔵品が279百万円、現金及び預金が216百万円増加しましたが、売掛金が1,557百万円、電子記録債権が472百万円減少したこと等によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ2,671百万円減少し、8,532百万円となりました。

これは主として、設備電子記録債務が101百万円増加しましたが、買掛金が1,190百万円、未払法人税等が926百万円、長期借入金が456百万円減少したこと等によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,358百万円増加し、23,147百万円となりました。

これは主として、利益剰余金が830百万円、為替換算調整勘定が493百万円増加したこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、419百万円増加し、当第2四半期連結累計期間末には11,892百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は、1,267百万円（前年同四半期比851.7%増）となりました。

これは主として、仕入債務の減少1,829百万円、法人税等の支払額1,422百万円等による減少要因があったものの、売上債権の減少2,515百万円、税金等調整前四半期純利益1,657百万円、減価償却費548百万円等による増加要因があったことによります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、205百万円（前年同四半期は445百万円の資金の減少）となりました。

これは主として、定期預金の払戻による収入425百万円等による増加要因があったものの、有形固定資産の取得による支出439百万円、定期預金の預入による支出166百万円等による減少要因があったことによります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は、813百万円（前年同四半期は742百万円の資産の増加）となりました。

これは主として、長期借入金の返済による支出526百万円、配当金の支払額250百万円、リース債務の返済による支出36百万円等による減少要因があったことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの主たる事業分野である半導体市場につきましては、中長期的には、デジタル社会への移行が世界中で進む中、半導体は様々な製品において需要の拡大が予想されており、それらを背景として、新たな半導体工場の建設等、半導体製造基盤の確保・強化に向けた動きも広がっております。一方、足元では、世界的な景気の減速、地政学的リスクの拡大等により、半導体市場や当社を取り巻く事業環境の不透明さは増しております。

2022年9月22日に公表いたしました通期の業績予想に変更はございませんが、業績予想に変更が生ずると判断した場合には速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,799	12,016
受取手形	4	3
電子記録債権	1,272	800
売掛金	8,670	7,113
有価証券	26	31
製品	431	507
仕掛品	1,219	1,089
原材料及び貯蔵品	1,785	2,064
預け金	46	46
その他	252	307
貸倒引当金	△13	△17
流動資産合計	25,495	23,962
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,387	2,372
機械装置及び運搬具（純額）	2,806	2,840
建設仮勘定	241	394
その他（純額）	1,056	1,181
有形固定資産合計	6,492	6,789
無形固定資産	185	184
投資その他の資産		
その他	820	743
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	819	742
固定資産合計	7,497	7,716
資産合計	32,992	31,679
負債の部		
流動負債		
支払手形	155	104
電子記録債務	1,081	811
買掛金	1,865	674
設備電子記録債務	90	191
1年内返済予定の長期借入金	1,511	1,441
未払法人税等	1,345	418
賞与引当金	433	486
その他	898	972
流動負債合計	7,380	5,100
固定負債		
長期借入金	3,682	3,225
その他	141	206
固定負債合計	3,823	3,431
負債合計	11,203	8,532

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,036	3,053
資本剰余金	3,255	3,272
利益剰余金	15,401	16,231
自己株式	△15	△15
株主資本合計	21,677	22,541
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2	1
為替換算調整勘定	109	603
その他の包括利益累計額合計	111	605
純資産合計	21,788	23,147
負債純資産合計	32,992	31,679

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	11,226	9,562
売上原価	6,323	6,240
売上総利益	4,902	3,321
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	475	453
退職給付費用	8	8
研究開発費	714	747
その他	692	872
販売費及び一般管理費合計	1,891	2,080
営業利益	3,011	1,240
営業外収益		
受取利息	4	4
受取配当金	17	21
為替差益	22	269
材料屑売却益	4	2
その他	13	10
営業外収益合計	62	309
営業外費用		
支払利息	15	14
新株発行費	10	0
その他	2	5
営業外費用合計	28	19
経常利益	3,044	1,530
特別利益		
補助金収入	—	126
特別利益合計	—	126
税金等調整前四半期純利益	3,044	1,657
法人税、住民税及び事業税	1,029	520
法人税等調整額	△130	54
法人税等合計	898	575
四半期純利益	2,145	1,082
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,145	1,082

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
四半期純利益	2,145	1,082
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	△0
為替換算調整勘定	159	493
その他の包括利益合計	159	493
四半期包括利益	2,305	1,575
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,305	1,575

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,044	1,657
減価償却費	493	548
株式報酬費用	—	8
補助金収入	—	△126
賞与引当金の増減額 (△は減少)	358	52
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,702	2,515
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△573	△111
仕入債務の増減額 (△は減少)	37	△1,829
その他	△198	△163
小計	460	2,551
利息及び配当金の受取額	24	26
利息の支払額	△15	△14
補助金の受取額	—	126
法人税等の支払額	△336	△1,422
営業活動によるキャッシュ・フロー	133	1,267
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△0	△0
有形固定資産の取得による支出	△476	△439
定期預金の預入による支出	△371	△166
定期預金の払戻による収入	369	425
その他	32	△24
投資活動によるキャッシュ・フロー	△445	△205
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△639	△526
リース債務の返済による支出	△31	△36
新株予約権の行使による株式の発行による収入	1,503	—
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△89	△250
財務活動によるキャッシュ・フロー	742	△813
現金及び現金同等物に係る換算差額	54	170
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	485	419
現金及び現金同等物の期首残高	6,189	11,473
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,674	11,892

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。